

① 制度の概要

パーキンソン病は日本国内で**15~20万人**の患者がいる指定難病です。本基金は、先進医療研究が進む一方で、患者が心配なく暮らせる環境整備にはまだ時間を要する現状を踏まえ、**患者のQOL向上**につながるあらゆる取り組みを支援します。早期治療の機会、情報アクセス、サポート連携の充実により、患者がより快適により長く人生を送ることを実現します。

医療関係者や当事者による地道な支援、新しいツールやサービスの試みが既に行われていますが、こうした取り組みを広げ、より多くの患者に届けることを目指します。**リハビリーション、情報提供、調査研究、啓発・交流、若年性患者支援**など、幅広い事業を助成対象としています。

② 支援内容

□ 法人格を持つ団体

助成対象期間は2026年5月1日~2027年4月30日の1年間。人件費・管理費を含む事業実施に必要な費用が対象。

最大500万円

□ 任意団体

法人格のない団体も応募可能。小規模でも意義ある取り組みを支援する方針。

最大50万円

③ 対象となる取組

【助成対象事業例】

- リハビリテーション提供機会の拡大
- 治療・社会生活で必要な情報アクセスの充実
- QOL向上を支援するツール・仕組みの研究開発
- 日常生活の活動や症状改善等に関する調査
- 患者や家族等の啓発や交流を支援する事業
- 若年性発症者への就労・育児支援事業

※既存事業の拡大・改善、または新規事業への取り組みが対象。単なる継続事業は対象外。

④ 対象者

- 日本国に活動の主事務所があること
- 活動実績1年以上の団体・法人等
- 法人格のない任意団体も対象
- 株式会社等の営利法人も対象

※団体名義（振込先・契約者となる法人名や組織名）で応募すること。

⑤ 採択率向上のポイント

- **患者視点の具体的効果**: QOL向上の成果を**定量的指標**で示すこと。単なる実施計画でなく、患者の生活改善に直結する効果を明確に。
- **既存リソースの活用**: 新規性と**実現可能性のバランス**が重要。既存事業の拡大・改善は経験値を活かせる強み。
- **持続可能性の提示**: 助成期間終了後の**継続計画**を示すこと。営利法人は5ヶ年収支計画で事業継続性を証明。
- **専門性と協働体制**: 医療機関、患者団体、専門家との**連携体制**を具体的に示すことで信頼性が向上。

⑥ 戰略的分析

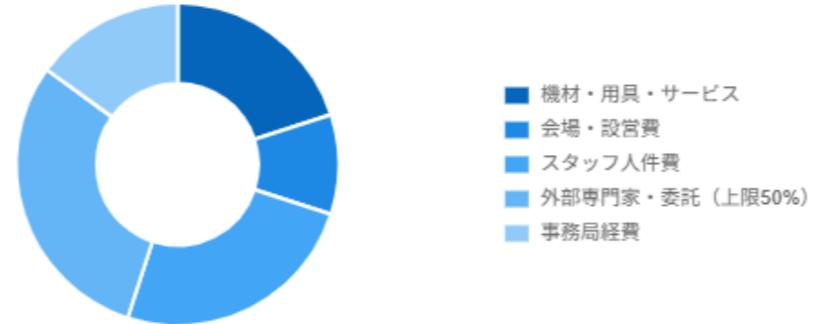
【助成総額1,000万円の戦略的配分】

- **採択件数3-6件程度**という柔軟な設定は、申請内容の質を重視する姿勢の表れ。
- 任意団体50万円上限は**小規模でも意義ある取り組み**を歓迎。法人格取得前の団体にもチャンス。
- 営利法人も対象とすることで、**ビジネスモデルでの持続可能な支援**を促進。

【申請システムGraainの活用メリット】

- **電子申請システム**により書類管理が効率化。過去申請データの再利用も可能。
- マニュアル完備で初めての申請でも**スムーズな手続き**が可能。
- アカウント作成は公募開始後すぐにを行い、**締切間際の混雑を回避**すること。

⑦ 助成対象経費の構成



外部委託費: **申請額合計の50%が上限**。専門家活用は積極的だが、自団体の実施能力も重視。

人件費・管理費: パート・アルバイト等のスタッフ人件費や法定福利費も計上可能で、**実務体制の構築**を支援。

⑧ 過去採択事例の傾向

活動分野	想定される取組例
リハビリ拡充	オンラインリハビリプログラム開発、地域拠点の設置
情報提供	患者向け情報サイト構築、疾患理解促進の教材開発
ツール開発	症状管理アプリ、服薬支援システムの研究開発
調査研究	患者QOL実態調査、治療効果の追跡研究
若年性支援	就労継続支援プログラム、育児サポート体制構築

⑨ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
応募用紙	<input type="checkbox"/> 事業目的と効果 を具体的に記載 <input type="checkbox"/> QOL向上の定量的指標を明示
団体紹介資料	<input type="checkbox"/> 活動実績1年以上 を証明 <input type="checkbox"/> 組織体制と専門性を明示
収支予算書	<input type="checkbox"/> 今事業年度の予算書を提出 <input type="checkbox"/> 費目ごとの 按分根拠 を明確に
存在証明書類	<input type="checkbox"/> 登記簿謄本等（法人の場合） <input type="checkbox"/> 団体名義での応募を確認
定款	<input type="checkbox"/> 団体の目的と活動内容を確認
営利法人のみ	<input type="checkbox"/> 5ヶ年収支計画書 で継続性証明 <input type="checkbox"/> 税務申告書の提出

⑩ 申請スケジュール

事前準備期間

Graainアカウント作成は公募開始後すぐに実施。応募用紙や収支予算書の作成に1~2ヶ月程度。事務局への質問は**2026年1月8日（木）9:00まで**受付。回答に数日要するため早めの問い合わせを。

公募期間

2025年11月10日（月）～2026年1月8日（木）17:00

Graainによる電子申請。応募用紙、団体紹介資料、収支予算書、登記簿謄本等、定款を準備。営利法人は5ヶ年収支計画書と税務申告書も必須。

審査期間

2026年1月中旬～3月頃（予定）

結果通知

2026年4月上旬（すべての申請者に通知）

助成金支払・事業開始

2026年4月下旬～助成金支払。

事業実施期間は2026年5月1日～2027年4月30日

⑪ 問い合わせ

制度詳細 <https://np-foundation.or.jp/information/000319.html>

申請システム [\(Graain\)](https://www.service.graain.net/UjBrs/general/login)

お問い合わせ 日本フィランソロピック財団
「パーキンソン病QOL基金」事務局
 ※お問い合わせは制度詳細ページよりE-mailでお願いいたします。